

令和8年度事業計画

I 基本的な考え方

高齢者をはじめ県民一人ひとりが、健康で生きがいを持ち充実した日々を過ごすため、生涯にわたる学びの継続、人や地域とのつながりが必要といわれています。

幅広い教養の涵養やクラブ活動を通じた仲間づくりなど、高齢者の生きがいを支える「いなみ野学園」「阪神シニアカレッジ」「ひょうごラジオカレッジ」を引き続き運営していきます。

また、生涯学習講座の実施、公民館等社会教育施設職員等を対象とした人材育成、シニアニュースポーツの普及、生涯学習情報の発信など、あらゆる世代の生涯学習を支援する取組を充実し、県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点としての役割を果たしていきます。

1 生涯学習の推進

あらゆる世代の生涯学習を支援するため、暮らしに役立つ趣味や知識等の分野に関する講座や生活に必要な基礎知識を習得するための講座など、受講者ニーズを踏まえた短期集中講座を実施します。

また、ひょうごインターキャンパスや生涯学習リーダーバンクの運営等を通じて、生涯学習に関するさまざまな情報提供等を行います。

2 高齢者等の学びの支援

高齢者の学びを支援するため、いなみ野学園では、地域の企業・団体、国・県と連携しながら、時代のニーズを捉えた新しい内容の講座を増やすなど、学習ニーズを踏まえた魅力あるカリキュラムの充実を図るとともに、講座内容の一層の向上に努めます。

阪神シニアカレッジでは、立地地域による特色、学習ニーズなどを踏まえ、日本の文学と歴史に関する深い学びを育む2年制講座を新たに提供します。また、ラジオカレッジでは、生涯を通じて学びに励む受講生の期待に応えていきます。

3 経営改善の推進

高齢化や物価高騰など協会をとりまく社会の環境・情勢が変化していく中、今後とも、学生に求められる学園として魅力向上に努めるとともに、引き続き経費削減及び収入確保に取り組み、協会の運営が持続可能なものとなるよう、経営改善を継続していきます。

II 令和8年度事業計画

1 生涯学習の総合的推進

(1) 生涯学習に係る情報提供

※中項目または事業名の後の（ ）は実施機関

事業名	事業概要
①ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営 （協会本部）	・教育機関・民間企業・行政等様々な生涯学習機関と連携し、多彩で幅広い生涯学習情報を提供するウェブサイト「ひょうごインターキャンパス」を運営します。
②生涯学習リーダーバンクの運営 （協会本部）	・生涯学習で得た知識・技能を生かし、ボランティア指導者として学習グループ等の活動支援をしようとするいなみ野学園研究生等の新たな登録を促進するとともに、その利用促進を図り、学びの社会還元を推進します。
③生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施 （協会本部）	・市町や生涯学習関係機関が抱える課題の解決を支援する生涯学習推進アドバイザーを派遣します。
④生涯学習情報提供・相談の実施 （協会本部）	・講座、資格、施設、イベント等に関する各種の生涯学習情報を提供するとともに、生涯学習に関する相談に応えます。

(2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施

① 生涯学習公開講座

協会本部 いなみ野学園	・現役世代を含むあらゆる世代の生涯学習に対する意識の高揚を図るため、政治・経済、芸術・文化、防災等について著名な有識者による講座を広く県民を対象にして開催します。
阪神シニアカレッジ	・オープンキャンパスなどの機会を活用し、学長の企画による文学、歴史に関する公開講座「学長文学歴史サロン」を開催します。

② 多世代交流事業の実施（いなみ野）

いなみ野学園の休園日の学舎などを活用し、学園生と地域の多世代住民がともに学び、交流するイベントなどを実施します。

〔講座・イベント例〕 親子陶芸教室、多可町との交流事業（絵画教室） など

③ 短期集中講座の実施（協会本部）

通年ではなく短期間の講座へのニーズを踏まえ、いなみ野学園の休園日の学舎などを活用し、くらしに役立つ趣味・知識等の分野の講座や、生活支援分野において活躍するために必要な基礎知識を習得するための講座など、短期集中講座（有料制・複数回開催）を実施します。

〔講座例〕 文学散歩、自然科学講座、話し方講座、剪定 など

④ 聴講生制度（いなみ野、阪神）

ア いなみ野学園

いなみ野学園高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりや実践活動の充実につなげていきます。

さらに「人生100年時代」に対して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供し、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層にも学習の機会を提供します。

・受講料（1講座あたり） 学生・卒業生 1,300円、一般 1,500円

イ 阪神シニアカレッジ

高齢者大学の講座の一部を公開し、カレッジライフの楽しさを体験していただき、募集案内を送付するなど学生の確保につなげていきます。

・受講料（1講座あたり） 学生・卒業生 1,300円、一般 1,500円

⑤ ラジオ講座番組（ひょうごラジオカレッジ）の提供

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供します。

(3) 生涯学習関係機関職員研修の実施

地域における学習拠点・活動拠点である公民館等の生涯学習関係機関の職員等を対象とする体系的な研修の機会を提供し、地域課題の解決に必要な知識・技能を養成する研修等により、関係職員等の資質向上を図ります。

① 新任社会教育関係職員等研修（協会本部）

社会教育関係職員として、職務を遂行する上で求められる基礎的な知識や技能を習得するための研修を実施します。

・対象者 社会教育・生涯学習関係職員等（経験2年未満程度）

② 社会教育関係職員等スキルアップ研修（協会本部）

企画能力、広報力、事業評価力など社会教育推進に向けた専門的な知識や技能を習得するための研修を実施します。

・対象者 社会教育・生涯学習関係職員等

③ 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修（協会本部）

社会教育主管課長や公民館長を対象に、社会教育・生涯学習の動向を学ぶとともに研究協議を行う研修を実施します。

・対象者 社会教育・生涯学習主管課長、公民館長等社会教育施設の長 等

2 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

生涯学習や地域づくり活動に対する多彩な県民ニーズに応えるため、多様な生涯学習関係機関、活動団体等とのネットワーク化や連携を進めます。

(1) 大学等学校教育機関との連携

① 兵庫大学、兵庫教育大学等との連携（協会本部、いなみ野）

兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学等との連携により、生涯学習講座の開設、学校施設の相互利用等を実施します。また、兵庫大学看護学部生、姫路大学看

護学部生、姫路医療センター附属看護学校生との交流を実施します。

② 公益財団法人兵庫県青少年本部山の学校との連携（いなみ野）

山の学校生徒による施設内の高木伐採のほか、交流事業に取り組みます。

(2) 公民館等市町関係機関との連携（協会本部、いなみ野）

公民館等が主催する生涯学習講座等の講師の紹介、生涯学習推進アドバイザーやいなみ野学園研究生の派遣などにより、市町の生涯学習事業を支援していきます。

(3) 博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）

県立美術館、兵庫陶芸美術館、県立考古博物館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立丹波年輪の郷との連携により、高齢者大学への講師派遣、各施設の実施事業への積極的な参加等を実施します。

(4) 高齢者大学等関係組織との連携

① 同窓研修会との連携（いなみ野）

同窓研修会を高齢者大学卒業生の生涯学習機関と位置づけ、講師としての研究生等の紹介を通じて研修活動の充実に協力していきます。あわせて、協会の協働先として、事業実施に協力を求めています。

② ラジオカレッジ友の会（放送大）

高齢者放送大学の「ラジカレ応援団」ともいえる友の会の活性化を図るため、友の会の組織率向上や自主事業の実施、運営継続などに関する課題を代表者会議の中で検討していきます。また、地方スクーリング等の機会を通じて、各友の会会員と個別に意見交換を行うなど、きめ細やかな支援協力を図っていきます。

③ 阪神シニアカレッジ同窓会との連携（阪神）

カレッジ学生・聴講生募集への協力、同窓会が実施する講座への講師紹介など、相互に連携を進めていきます。

(5) 広域ネットワーク組織との連携

兵庫県公民館連合会等の広域ネットワーク組織との連携を強化するとともに、全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会等の広域を越えたネットワーク組織との連携を強化していきます。

① 兵庫県公民館連合会との連携（協会本部）

第 69 回兵庫県公民館大会を支援します。また、生涯学習関係機関職員等研修を共同実施することで、同連合会との連携強化を図ります。

第 69 回兵庫県公民館大会概要

開催日：令和 9 年 1 月（予定）

場 所：兵庫県いなみ野学園

主 催：兵庫県公民館連合会

共 催：公益財団法人兵庫県生きがい創造協会

内 容：表彰、施策説明、講演ほか

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携（協会本部）

高齢者の生きがいづくり・健康づくりを推進し、地域の支え手となる高齢者を育む活動に取り組む全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会が主催する会議・研修会に参加し、推進機構相互の情報交換や事業推進の協議を行います。

③ 県内文化施設との連携（あいカード）（協会本部、いなみ野、放送大、阪神）

県内の美術館、博物館等の文化施設における当協会が所管する県高齢者大学等学生を対象とする割引利用制度（あいカードの提示による割引）により、学生の学習ニーズに対応するとともに、文化施設の利用促進を図っていきます。

(6) NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携（いなみ野、阪神）

ボランティア活動の場の提供、実践体験講座の支援等に取り組むボランティアセンターを運営する市町社会福祉協議会、NPO を育成する中間支援団体等との連携を進めていきます。

(7) 学園の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

施設の魅力を活かした地域住民との交流を行います。

- ・学園の魅力ある資源を活かした陶芸および園芸の地域開放型講座
- ・「親子陶芸教室」の継続実施（再掲）
- ・「わくわく講座」の継続実施

3 地域社会を支える高齢者等の学びの支援

(1) 高齢者大学事業の充実

- ・幅広い教養の涵養やクラブ活動を通じた仲間づくりなど、引き続き高齢者の生きがいづくりを支援するとともに、学習成果を地域社会で生かす取組みを強化するなど、高齢者大学事業の充実を図ります。
- ・いなみ野学園、阪神シニアカレッジは、立地する地域の特色、施設の状況、学生の学習ニーズ等を踏まえ、それぞれの個性をより生かした先進的な講座運営等を目指します。

① いなみ野学園

ア いなみ野学園大学講座

高齢者の多様なニーズに柔軟かつ機動的に対応した魅力あるカリキュラムになるよう常に検証を行い、入学者の増加に努めます。

また、社会の動向や学園生のニーズを踏まえた新しい内容の講座を増やすとともに、地域の企業・団体や国、県との連携を図りながら、講座内容の一層の充実に努めます。

さらに、欠席者・復習用の共通講座録画配信を全学生を対象に実施し、印刷資料の削減にも取り組みます。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	①概ね 56 歳以上の県内在住者で、学習や地域活動に意欲のある方 ②本大学卒業見込みまたは卒業した者は、卒業学科（在学学科）も志願することができる
学習年限	4 年

授業日等	授業日	・第1学年＝月曜日 ・第2学年＝火曜日 ・第3学年＝木曜日 ・第4学年＝金曜日
	授業時間数等	・授業 週1回 ・毎日の授業時間数＝90分×2回の講義、実習と園外実習など。 1年 共通講座 25講座・専門講座 35講座 2～4年 共通講座 20講座・専門講座 40講座
定員	園芸学科・健康づくり学科・文化学科 各100名 陶芸学科 40名 計340名	
経費	入学金 6,000円 受講料(年間) 50,000円 その他実習費等	

〔講座内容〕

講座名	学習目標	学習内容	
共通講座	専門講座の基礎的な講座と様々な分野についての見聞を広げ、地域を支え、学び続けるため、「深く兵庫を学び、広く世界を知る」「健やかに生き、安全・安心に暮らす」「生きがいを創り、人間を磨く」に則り、計画的な講義を同一年次の受講生全員が共通して学びます。	歴史・文化、自然、生き方、人間関係 健康・医療、福祉・介護、経済・法律、 防災・防犯、交通安全 社会の動き、地域創生、その他	
専門講座	園芸学科	園芸に関する知識と技能を修得するとともに、広く農業や緑化、環境保全の問題について学ぶことにより、地域に貢献する意識と能力を身につけます。	園芸植物の栽培基礎、野菜・草花・ 果樹・樹木その他の園芸知識、園芸に 関する時事問題、地域貢献
	健康づくり学科	こころとからだの調和がとれたより良い生活を実践するモデルとなるとともに、具体的な講義や実習を通じて地域に貢献する意識と能力を身につけます。	からだ・運動(実技・運動概論)、食事・ 住居・環境、健康・福祉、地域貢献、 その他
	文化学科	文化や歴史、芸術、文学に関する教養を深めるとともに、講義や園外学習、自主研究活動を通じて地域に貢献する意識と能力を養います。	ふるさとの地誌、兵庫の偉人、日本の 歴史、日本の文学・語学、伝統文化、世 界の文化、異文化理解、芸術の世界、表 現、旧跡探訪、その他

陶芸学科	陶芸に関する基礎的な知識や技能を学び創作するとともに、作品鑑賞を通じた豊かな心の醸成により地域社会に貢献する意識と能力を身につけます。	陶芸の歴史と鑑賞、作陶、施釉、焼成、その他
	〔陶芸学科専修コース(令和3年度～)〕 陶芸学科卒業生など、陶芸に関する一定の技能を持っておられる方を対象に、「陶芸学科専修コース」を開設しています。(1年制・更新可能)	

イ いなみ野学園大学院講座

高齢者大学講座等で学んできた知識や技能を掘り下げ、個人や地域の力を再発見することにより、地域での活動をはじめ、地域づくりを支援できる人材の育成を目指します。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	2年制以上の県・市町立高齢者大学を卒業（見込みを含む）した方 特に学習及び地域活動に意欲があると学園長が認めた方
学習年限	2年
授業日等	授業日 第1学年＝火曜日 第2学年＝金曜日 授業日数 年間30日
定員	地域づくり研究科 計50名 (歴史・文化、健康・福祉、環境・地域、景観園芸 全4コース)
経費	入学金6,000円 受講料(年額)50,000円

〔講座内容〕

コース名	学習目標	学習内容
歴史・文化コース	地域の歴史、兵庫の歴史、地域の文化、日本の文化について学び研究します。	日本・諸外国の歴史・文化、地域の歴史・文化、伝統行事・伝統文化、文化遺産、文学、偉人、その他
健康・福祉コース	健康及び福祉という観点から人生や地域の在り方を研究します。	健康・福祉、ボランティアグループの運営、レクリエーション、その他
環境・地域コース	環境問題の現状を知り、次世代を見据えた人と地域や自然との関わり方について学び研究します。	環境保全と地域活動、再生可能エネルギー、日本のエネルギー消費、生物多様性、その他
景観園芸コース	自然や風土と関わる生活を見つめ直し、豊かな暮らしのあり方について学び研究します。	地域の自然・風土、造園・園芸、景観園芸による地域づくり、その他

ウ 研究生制度

高齢者大学の卒業生を活用した生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院講座修了者を対象に、生涯学習指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制

度を運営します。

対象者	いなみ野学園大学院修了者
研究期間	原則5年限度
内容	研究計画書の提出及び研究期間末に成果報告を提出します。 大学院講座学科主任又は同講座講師の指導を受講します。 いなみ野学園大学講座の特任講師として講義を奨励します。
研究機会	年15回（公開講座・ゼミなどの登園日数）
経費	負担金（年間）27,000円

エ 学園運営等サポーター

高齢者大学の講座運営等を支援する高齢者大学等運営サポーターを募集、登録し、高齢者大学卒業生等の学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図っていきます。

〔学園運営サポーター〕

種別	内容
(講座等)運営サポーター(5名程度)	大学院や大学の講座における円滑な講座運営のための講座補助業務を行います。 〔対象〕 研究生等
地域活動支援センター運営サポーター(4名)	学生等による地域活動を企画し、その実践を支援します。 〔対象〕 学園卒業生等
学園広報サポーター(8名)	CATV番組や広報ビデオ、名刺の制作などを行います。 〔対象〕 研究生
みどりのサポーター(30名程度)	いなみ野学園敷地内の庭木や草花の植栽管理活動を行います。 〔対象〕 学園卒業生

② 阪神シニアカレッジ

ア 大学講座

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供します。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	56歳以上の神戸・阪神地域在住の方
学習年限	4年
授業日等	授業 週2回（一般教養講座1回、専門講座1回） 毎日の授業時間数=90分の講義、実習とフィールドワーク 年間 1～4年 一般教養講座30回・専門講座30回
定員	園芸学科・健康学科・国際理解学科 各50名 計150名
経費	・令和7年4月以降入学 受講料（年間）60,000円 実習費（年間）園芸学科のみ6,000円 ・その他 受講料（年間）50,000円 実習費（年間）園芸学科のみ3,000円

〔講座内容〕

区分	学習目標	学習内容
一般教養講座	園芸、健康、国際理解の3学科に共通する講座として、人文科学、社会科学、自然科学、芸術文化、スポーツの各分野について、幅広い教養を体系的に理解します。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会、地域、豊かさなどの社会及び人間のあり方に関する人文科学及び社会科学関係 ・生命、動植物、生物多様性、災害、気象、エネルギー、宇宙などの自然科学関係 ・音楽、絵画、スポーツなどの芸術文化等関係
専門講座	園芸学科	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜、草花、果樹、庭木などの幅広い園芸技術 ・園芸道具、資材、種選びや苗選びなどの共通的基本作業 ・園芸植物の基礎科学 ・阪神地域に適した家庭園芸実践技術 ・先端園芸科学 ・グループ実習
	健康学科	<ul style="list-style-type: none"> ・病気についての正しい知識 ・健康を阻害する様々な要因 ・健康長寿を実現する実践的手法
	国際理解学科	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域 ・世界の政治、経済、社会、文化 ・世界の現状と課題 ・国際協力 ・地域国際化

イ 2年制講座

地域の魅力や課題への認識を高め、コミュニケーション力の向上を通じて、地域活動への意欲を醸成するとともに、シニア層のニーズを踏まえ、日本の文学と歴史に関する深い学びを提供します。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	56歳以上の神戸・阪神地域在住の方
学習年限	2年
授業日等	授業日 週1回 授業日数 年間30回
定員	阪神ひと・まち創造講座 30名 文学・歴史講座 45名
経費	・受講料（年間）30,000円

〔講座内容〕

講座名	学習目標	学 習 内 容
阪神ひと・まち 創造講座	阪神地域の社会、歴史、文化、産業、自然などの魅力や課題、地域社会における人間関係のあり方を理解するとともに、地域課題の解決に向けて地域活動を実践します。	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神地域の社会、歴史、文化、産業、自然 ・人間関係、コミュニケーション力 ・地域活動 ・フィールドワーク
文学・歴史講座 【新規】	日本の文学と歴史に関して、時代を映す事象や文学作品等への理解を深めるとともに、政治、経済、芸術、文化、生活、宗教など幅広い観点から各時代を考察します。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史概説 ・各時代の事件、事象、人物、生活等 ・各時代を代表する文学作品、作家等 ・兵庫県や阪神地域の歴史と文学

(2) ひょうごラジオカレッジ事業の実施

ア ひょうごラジオカレッジ（高齢者放送大学）

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供するとともに、中央・地方スクーリング等を通じた学友との交流の場の提供など、ラジオカレッジの魅力を積極的に発信していきます。

ラジオ講座による学習に意欲のある人なら誰でも参加できるよう、若年層や県外居住者など受講生のさらなる拡大を図っていきます。

また、百歳以上の受講生を「名誉聴講生」とし、人生百年時代において生涯学習に励む姿勢に敬意を表し、他の受講生の学習意欲の向上を図ります。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	本科生：ラジオ講座による学習に意欲のある方 生涯聴講生：原則として本科を修了した方 名誉聴講生：原則として本科を修了し、年度開始時点の年齢が百歳以上の方
学習年限	本科生：1年、生涯聴講生・名誉聴講生：1年ごとに更新（年限なし）
定 員	本科生：500名 ※生涯聴講生は定員を設けません。
経 費	本科生 7,000円 生涯聴講生 6,000円 名誉聴講生 無料 ※テキスト購読料、スクーリング等参加料を含む年額
自主活動	県内各地区では、ラジオカレッジ友の会が自主的に組織され、活発に活動しています。 各友の会は相互に交流を図りながら、学習会やボランティア活動など多彩な取り組みを展開しています。

〔講座内容〕

区分	運営方針等	学習方法等
ラジオ講座	<ul style="list-style-type: none"> 毎週土曜日午前7時から30分間のラジオ講座(ラジオ関西 AM558・FM91.1、豊岡AM1395・香美FM77.8)を放送します。 (学習内容) <ul style="list-style-type: none"> ①健康・医療 ②文化・歴史 ③生きがいづくり ④政治・経済、自然科学、地域づくり、その他社会的話題性を有する事項 	<ul style="list-style-type: none"> 聴講後、講座の感想文をはがき(またはメール)で提出します。 本科生は、月1回程度往復はがき等で感想文を提出し、返信用はがき等でラジオカレッジ講師から個々に助言します。 講義の概要や学生の感想文などを掲載したテキストを毎月1回、さらに、特集号を年1回発行(郵送)します。
スクーリング等	<ul style="list-style-type: none"> 学生相互あるいは学生と講師・職員との交流を深めるため、スクーリング、研修旅行、春のつどい、文芸祭を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央スクーリング(年2回) いなみ野学園キャンパス 地方スクーリング(各年1回) 阪神・神戸、丹波、但馬、播磨の各地域 研修旅行(県内 年1回1日) 春のつどい、文芸祭 いなみ野学園キャンパス

イ ラジオカレッジサポーター

ラジオカレッジのテキスト等の編集や発送、行事の運営などにスタッフとして参加する「ラジオカレッジサポーター」を募集・登録します。ラジオカレッジを通じた交流の活性化を図っていきます。

- ・対象者 ラジオカレッジ学生
- ・募集人員 20名
- ・活動日数 年20回程度

(3) 地域づくり活動の推進と支援

① いなみ野学園地域活動支援センター

いなみ野学園の学生・卒業生が行う地域づくり活動を推進する拠点として「地域活動支援センター」をいなみ野学園内に設置し、ボランティア情報の提供やボランティア団体の創設・運営、活動成果の情報発信を支援します。

- ・運営サポーター4人
- ・主な機能 グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり
地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信

② 阪神シニアカレッジ地域活動支援センター

阪神シニアカレッジの学生・卒業生が行うボランティア活動等の地域づくり活動を支援するため「地域活動支援センター」を設置し、情報提供、グループの企画・運営相談、活動成果の情報発信等を行います。

- ・主な機能 グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり
地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信、登録グループの行う地域活動に対する経費支援

(4) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

ツウゲットボール等のシニアニュースポーツの普及、全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手派遣を行い、高齢者の交流・健康づくり活動を広域的に展開していきます。

① シニアニュースポーツ（協会本部）

グラウンド・ゴルフをはじめとするシニアニュースポーツの普及促進を図り、当協会が開発したツウゲットボールの全県大会を開催します。

- | | | |
|--------------|------|-------------|
| ツウゲットボール全県大会 | ・開催日 | 令和8年10月（予定） |
| | ・参加者 | 160名（32チーム） |

② 全国健康福祉祭（ねんりんピック）（協会本部）

全国の高齢者がスポーツ等を通じて交流を深める全国健康福祉祭（ねんりんピック）に兵庫県選手団を派遣します。

○ねんりんピック彩の国さいたま 2026（第38回全国健康福祉祭埼玉大会）

- ・会期 令和8年11月7日～10日
- ・選手団 180名程度

4 経営の健全性・透明性の確保

県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点の実現に向けて、県民の信頼を得ながら、安定的、持続的な経営に努めます。

「兵庫県生きがい創造協会経営改善推進本部会議」を通して、経営の健全性・透明性を確保し、いなみ野学園をはじめ各種事業の魅力向上に取り組みます。

(1) 安定した収入の確保

① 高齢者大学入学者の確保

応募者数が減少傾向にあることから、魅力的なカリキュラムの設定など、高齢者大学の魅力向上を図り、入学者定員の確保に努めます。

また、入学者募集の際に効果的な口コミによる周知を図るため、学生・卒業生等への高齢者大学に関する定期的な情報提供を行うほか、PR効果の高いホームページ、マスメディアの活用など、効果的なPRに努め、認知度の向上を図ります。

② 適正な受益者負担の徴収

協会事業に係る経費について、原料・資材の価格高騰を踏まえながら、適正な受益者負担を求めていくこととします。

③ 寄付募集の推進

いなみ野学園創立50周年を機に、令和元年度から寄付募集を開始しており、今後も在園生に寄付募集を積極的に働きかけます。また、ホームページ等を通じて広く一般

への周知に努め、寄付受納の一層の促進を図ります。

④ オープンキャンパスの開催（いなみ野、阪神）

施設の見学を通じて入学志望を高めてもらうため、オープンキャンパスを開催します。講義参観やクラブ見学のほか、秋の学園祭開催時には地域内の住民に広く参加を呼びかけるなど一般県民に開放することで、高齢者大学での学びや活動への理解と啓発を図り、生涯学習を推進する機会とします。

⑤ 自主事業の収益の確保

積極的な広報を行い、新規利用者の掘り起しなど利用者の増加に努めます。

ア 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味、創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを販売する場として、引き続き、民間事業者に委託して運営します。

- ・ 出品物 野菜、花き、果物、苗、菓子、手芸品など
- ・ 施設の概要 木造平屋建寄棟造 117.9 m²

イ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、地域や世代間の心のふれあいと交流を図る場として運営します。

(7) 指導者付貸農園（ファミリーファーム）の運営

- ・ 区画数 448 区画(16.5 m² ; 395 区画、30 m² ; 14 区画、32 m² ; 39 区画)
- ・ 利用料 16.5 m² 7,200 円／年
30 m²及び32 m² 18,000 円／年

(イ) 施設の概要

- | | | | |
|-------------|-----------------------|-------|----------------------|
| ・ ファミリーファーム | 11,620 m ² | ・ 農園 | 4,415 m ² |
| ・ 果樹園 | 6,330 m ² | ・ 管理棟 | 176 m ² |

ウ 高齢者陶芸の村（協会本部）

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがいを創造する場として、会員の自主運営により実施しています。

(7) 会員の入村・利用料等

- ・ 会 員 60 歳以上の者
- ・ 入村料 12,000 円 ・ 利用料 月額 6,000 円（3 月分前納）
- ・ 材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・ 作陶日：週 2 回（月・木）
- ・ 指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

(イ) 地域への開放

地域の人々に施設を開放し、広く陶芸の普及と世代間交流を図ります。

- ・ 利用料 一人 1 日 1,500 円
- ・ 材料費・焼成費 内容に応じて設定

- ・作陶日：毎週水曜日
- ・指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

(ウ) 施設の概要

- ・敷地 2,820 m²、建物 720.78 m²
- ・作業棟3棟 451.11 m²、窯棟3棟 120.43 m²、乾燥棟 72 m²、その他 78.24 m²

(2) 職員の適正配置等による運営

長期的視点で事業を計画的、継続的に執行することができるよう職員の適正配置等による運営を行います。また、高齢者大学のクラス運営等のルーティン業務を運営サポーター等による自立的運営に移行するなど、高齢者が高齢者を支援する体制で運営を行います。

(3) 協会事業の透明性確保・広報の充実

① 協会事業の見える化（協会本部）

ア 協会ホームページで、組織・収支状況・経営方針・事業内容・イベント情報などを定期的に発信します。

イ ニュースレター「生きがい通信」

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報などをニュースレターとしてホームページに掲載することにより、地域社会への貢献についての県民の意識啓発を図るとともに協会事業の内容を積極的に発信します。

- ・発信回数 年3回

ウ SNSを活用した情報発信

協会公式インスタグラムで、各種協会事業について時宜を得た情報を発信します。

② マスメディアとの連携（協会本部、いなみ野、阪神）

ラジオや新聞等のマスメディアの協力を得ながら、当協会及び協会事業の情報発信を行います。

③ いなみ野学園情報番組の制作・発信（協会本部、いなみ野）

ア 地域ケーブルテレビ局「BAN-BAN テレビ」の協力を得て、研究生等の自主制作により放映している番組「播磨まちかどニュース with いなみ野学園」への応援を通じて、学園行事等の情報発信に努めます。

イ 学園ホームページを活用し、学生の協力を得て「播磨まちかどニュース with いなみ野学園（瓦版）」を発行し、学園の活動や魅力について情報発信を行います。

④ ホームページの運営（協会本部、いなみ野、放送大、阪神）

可能な限りの情報公開を目指すとともに、わかりやすく、親しみやすい、身近に感じてもらえる施設像の情報発信に努めていきます。

(4) 経営改善の推進

持続可能な財務基盤の確立にむけ、経営効率化にむけた取組みを進めます。